

平成26年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年5月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キタック

コード番号 4707 URL <http://www.kitac.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 輝也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部次長 (氏名) 井村 弘章

TEL 025-281-1111

四半期報告書提出予定日 平成26年6月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第2四半期の業績(平成25年10月21日～平成26年4月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第2四半期	1,686	32.1	354	146.4	334	171.5	202	187.2
25年10月期第2四半期	1,276	23.2	143	△13.8	123	△13.8	70	△9.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第2四半期	36.12	—
25年10月期第2四半期	12.58	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	%	円 銭	
26年10月期第2四半期	5,350	37.6	2,012	35.2	359.42			
25年10月期	5,224	35.2	1,837		328.06			

(参考)自己資本 26年10月期第2四半期 2,012百万円 25年10月期 1,837百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年10月期	—	0.00	—	—	—
26年10月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の業績予想(平成25年10月21日～平成26年10月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,468	11.2	231	20.9	180	15.4	110	71.9	19.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年10月期2Q	5,969,024 株	25年10月期	5,969,024 株
② 期末自己株式数	26年10月期2Q	368,527 株	25年10月期	368,435 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年10月期2Q	5,600,566 株	25年10月期2Q	5,600,589 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済対策や日銀の金融緩和政策などを背景にして、輸出関連企業を中心とした企業収益が改善し、個人消費についても消費税増税前の掛け込み需要などにより、景気は緩やかながら回復基調で推移したものの、一方では、消費税増税後の国内需要の腰折れや新興国経済の下振れ懸念などにより、先行き不透明な状況で推移しました。

その中で当社の属する建設コンサルタント業界の市場環境におきましては、国の建設投資については平成25年度補正予算の執行ならびに国土強靱化政策に基づく公共インフラの整備事業などにより堅調に推移したものの、一方では地方公共団体の公共事業については新規事業の予算縮減が継続されているため、引き続き厳しい受注環境となりました。

こうした状況の中、当社としては、他社との差別化を目指して、培ったノウハウを活用し顧客のニーズに合った技術提案の強化を経営の最重要課題のひとつとして位置付けて、きめ細かな営業活動を展開し全社を挙げて受注確保に取り組んだ結果、当第2四半期累計期間の受注高は10億円(前年同四半期比21.9%増)となりました。

収益面につきましても、前事業年度からの繰越業務の進捗率が業務の効率化などにより当初の想定を上回ったこと、及び当第2四半期累計期間の受注高が堅調に推移したことなどにより、売上高16億8千6百万円(同32.1%増)、営業利益3億5千4百万円(同146.4%増)、経常利益3億3千4百万円(同171.5%増)、四半期純利益2億2百万円(同187.2%増)となりました。

また、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(建設コンサルタント事業)

建設コンサルタント事業の当第2四半期累計期間の業績は、前述のとおり、前事業年度からの繰越業務の進捗率が当初の想定を上回ったことなどにより、完成業務収入16億1百万円(前年同四半期比34.2%増)、売上総利益5億7千6百万円(同56.4%増)となりました。

(不動産賃貸等事業)

不動産賃貸等事業の当第2四半期累計期間の業績は、入居率の上昇及び諸経費削減などにより、不動産賃貸等収入8千5百万円(前年同四半期比2.6%増)、売上総利益2千1百万円(同31.0%増)となりました。

②売上高の季節的変動について

当社の主要事業である建設コンサルタント事業は、主要顧客先が国・地方自治体であることから、公共事業の工期が事業年度末である3月および9月に集中する傾向にあるため、当社の売上高の計上時期が第2四半期会計期間と第4四半期会計期間に偏る傾向が高い反面、販売費及び一般管理費は各四半期毎に概ね均等に発生するという季節的変動要因があります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の分析

(資産)

資産合計は、53億5千万円(前事業年度末比1億2千6百万円増)となりました。

主な増減内訳は、現金及び預金(同3億1千8百万円増)、受取手形及び完成業務未収入金(同6千万円減)、未成業務支出金(同1億3千1百万円減)等であります。

(負債)

負債合計は、33億3千8百万円(前事業年度末比4千8百万円減)となりました。

主な増減内訳は、業務未払金(前事業年度末比6千2百万円減)、未払法人税等(同1億1千万円増)、短期借入金(同2億4千万円減)、社債(1億円増)等であります。

(純資産)

純資産合計は、20億1千2百万円(前事業年度末比1億7千5百万円増)となりました。

主な増減内訳は、利益剰余金(同1億7千4百万円増)等であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、投資活動ならびに財務活動による資金の流出はありましたが、営業活動による資金の流入により、当第2四半期累計期間末は3億7千万円(前事業年度末比3億1千8百万円増)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果流入した資金は、5億5千7百万円(前年同四半期は流入した資金1億8千7百万円)となりました。これは、主に税引前四半期純利益3億3千4百万円、減価償却費4千2百万円、たな卸資産の減少額1億3千2百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果流出した資金は、3千3百万円(前年同四半期は流出した資金2百万円)となりました。これは、主に投資有価証券の取得による支出2千万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果流出した資金は、2億5百万円(前年同四半期は流出した資金1億7千7百万円)となりました。これは、主に短期借入金の純減少額2億4千万円、社債の発行による収入9千8百万円、配当金の支払額2千8百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年5月23日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、現時点においては平成25年12月9日に公表した業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年10月20日)	当第2四半期会計期間 (平成26年4月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,861	396,867
受取手形及び完成業務未収入金	370,802	310,721
未成業務支出金	318,168	186,341
貯蔵品	3,789	2,843
繰延税金資産	22,895	29,300
その他	16,505	17,221
貸倒引当金	△908	△767
流動資産合計	810,114	942,528
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	321,802	312,022
工具、器具及び備品(純額)	450,990	450,769
賃貸資産(純額)	1,074,970	1,066,574
土地	2,354,153	2,354,153
その他(純額)	32,033	28,629
有形固定資産合計	4,233,950	4,212,148
無形固定資産		
投資その他の資産	14,130	12,668
投資有価証券	127,955	148,793
繰延税金資産	14,893	14,264
その他	23,302	20,597
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	166,143	183,646
固定資産合計	4,414,224	4,408,464
資産合計	5,224,338	5,350,992
負債の部		
流動負債		
業務未払金	133,364	70,622
短期借入金	740,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	254,388	245,832
未払法人税等	30,021	140,672
未成業務受入金	134,482	175,261
賞与引当金	37,735	40,166
業務損失引当金	1,964	1,827
その他	160,808	189,083
流動負債合計	1,492,766	1,363,464
固定負債		
社債	350,000	450,000
長期借入金	1,277,716	1,254,077
退職給付引当金	51,010	48,636
役員退職慰労引当金	184,411	188,310
その他	31,088	33,538
固定負債合計	1,894,226	1,974,562
負債合計	3,386,992	3,338,026

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年10月20日)	当第2四半期会計期間 (平成26年4月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	479,885	479,885
資本剰余金	306,201	306,201
利益剰余金	1,142,098	1,316,416
自己株式	△110,487	△110,509
株主資本合計	1,817,698	1,991,993
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,648	20,972
評価・換算差額等合計	19,648	20,972
純資産合計	1,837,346	2,012,966
負債純資産合計	5,224,338	5,350,992

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年10月21日 至平成25年4月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年10月21日 至平成26年4月20日)
売上高	1,276,814	1,686,629
売上原価	891,396	1,088,201
売上総利益	385,418	598,428
販売費及び一般管理費	241,523	243,929
営業利益	143,895	354,498
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	767	1,812
業務受託手数料	6,539	9,961
その他	5,887	4,362
営業外収益合計	13,199	16,140
営業外費用		
支払利息	23,890	24,475
社債利息	1,647	1,438
その他	8,454	10,463
営業外費用合計	33,992	36,377
経常利益	123,102	334,262
税引前四半期純利益	123,102	334,262
法人税、住民税及び事業税	47,091	137,231
法人税等調整額	5,575	△5,289
法人税等合計	52,667	131,941
四半期純利益	70,435	202,320

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年10月21日 至 平成25年4月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年10月21日 至 平成26年4月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	123,102	334,262
減価償却費	43,226	42,742
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,967	△2,373
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△402	3,898
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	154	△141
受取利息及び受取配当金	△771	△1,817
支払利息	23,890	24,475
社債利息	1,647	1,438
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,007	2,431
未成業務受入金の増減額 (△は減少)	△17,417	40,778
未払消費税等の増減額 (△は減少)	7,663	17,768
売上債権の増減額 (△は増加)	△57,892	60,081
たな卸資産の増減額 (△は増加)	120,786	132,773
仕入債務の増減額 (△は減少)	35,335	△62,742
業務損失引当金の増減額 (△は減少)	△6,521	△137
未収入金の増減額 (△は増加)	△4,582	437
その他	10,105	14,802
小計	278,284	608,677
利息及び配当金の受取額	767	1,813
利息の支払額	△26,167	△25,536
法人税等の支払額	△65,163	△27,906
営業活動によるキャッシュ・フロー	187,722	557,048
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△20,000
有形固定資産の取得による支出	△1,616	△13,091
無形固定資産の取得による支出	△648	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,264	△33,091
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000	△240,000
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△116,438	△132,195
社債の発行による収入	134,112	98,289
社債の償還による支出	△214,000	—
リース債務の返済による支出	△3,602	△4,020
配当金の支払額	△28,002	△28,002
その他	—	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△177,931	△205,950
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,526	318,006
現金及び現金同等物の期首残高	59,854	52,261
現金及び現金同等物の四半期末残高	67,380	370,267

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 平成24年10月21日 至 平成25年4月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	建設コンサルタント事業	不動産賃貸等事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,193,797	83,017	1,276,814
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,193,797	83,017	1,276,814
セグメント利益	368,799	16,619	385,418

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成25年10月21日 至 平成26年4月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	建設コンサルタント事業	不動産賃貸等事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,601,479	85,149	1,686,629
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,601,479	85,149	1,686,629
セグメント利益	576,653	21,774	598,428

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。